



2010

—— 創立15周年記念誌 ——

常滑市内児童生徒国際交流推進協議会

ごあいさつ



TSIE会長

福田 泰造

TSIE（常滑市内児童生徒国際交流推進協議会）、創立15周年を迎えるにあたり、一言ごあいさつを申し上げます。

ご高承いただいているとおり、1995年に常滑東小学校から始まったTSIEの国際交流活動は、ISSE本部の適切なお助言に加え、市内各小中学校の実行委員会、先生方、PTA役員そして地域の皆様方諸賢のTSIEに寄せられたご支援と、歴代TSIE役員の並々ならぬご努力と、ご指導により、今回に見るTSIEの姿を具現したことは、会員の皆様方とともにご同慶至極に存ずるところであります。

本年は創立15周年に当たりますので、これを記念して式典、祝賀会、15周年記念誌を発行することになり、また併せて、ISSEのカンファレンス（世界会議）を常滑にて開催することになっています。これらの事業は、TSIE会員のご協力によって成立いたします。多くの皆様方のご参加を期待申し上げます。

さて、先の10周年以来今回までの5年間に長年の課題でありました小鈴谷小学校の事業参加を実現しました。そして、各年度毎の事業としましては、通常総会において、過年度の事業及び決算のご承認、さらに事業計画、予算案のご審議を得て着実に事業を推進してまいりました。各事業校の派遣・受入事業及びISSEカンファレンスへの参加などであります。ただ、世界中で猛威を振るったSARSや新型インフルエンザが事業実施を妨げ、TSIE役員会や各小学校の実行委員会ではその対策に苦慮してきたのも事実であります。

TSIEでは、常滑市の第四次常滑市総合計画が掲げている「世界に開かれた生活文化都市」実現のため、あらゆる努力をおしみません。その為、各小学校の皆さんと一緒に子供たちの国際交流事業を通して街づくりから地域づくりへ、そして国づくりにまで発展させ、地球に優しい国際人の育成に役立てればと考えます。

終わりにあたり今後ともTSIEに変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げ、ごあいさつといたします。



TSIE創立15周年を祝して



常滑市長

片岡 憲彦

常滑市内児童生徒国際交流推進協議会（TSIE）が創立15周年を迎えられました。心からお祝い申し上げます。

15年間に、常滑の270名余の児童生徒がオーストラリア、マレーシア、インド、アメリカ、タイ、メキシコの学校へ行き、280名余の子どもたちを常滑に迎えたと聞いています。学校での3週間の交流ですから、国や言葉の違いを超えて心が通い合う感動を味わった子どもたちは数えきれないと思われます。すばらしい成果です。

常滑市は世界に開かれた生活文化都市を目指しています。未来を担う子どもたちが、貴会の事業によって外国の人と文化に触れ、日本や常滑の文化やよさを再発見しています。これまでにサーズや新型インフルエンザの影響等、多くのご苦勞もあつたと存じますが、役員や各校実行委員の方々、先生方や地域の方々のご尽力でこの貴重な事業を継続してくださいましたことに心より感謝申し上げます。皆様の益々のご健勝をご祈念申し上げます。



常滑市教育委員会
教育長

加藤 宣和

TSIEの創立15周年、おめでとうございます。長年にわたって常滑市の児童生徒に国際交流を通して多くの感動を与えてくださったことに深く感謝申し上げます。

小学生のとき交流を経験した若者の中に、常滑市の教員として派遣団の引率を希望している人や国際的に活躍する夢のために留学を決めた人がいることを聞いています。TSIEの事業の歩みは、常滑の子どもたちの夢を育て続けた15年間であります。

21年度から小学校で外国語活動が実施されています。コミュニケーション能力の育成や言語や文化についての体験的な理解が重要になっていますが、貴会のご尽力で常滑市では早くからその機会をいただきました。交流活動が心の通じ合いを生み、感動体験から世界の平和について考え、子どもたちは心豊かに育っています。貴会の歴代会長様をはじめ、関係各位のお心とご尽力に対しましてお礼申し上げます。祝辞といたします。



国際交流協会
会長

市原 昌

TSIEの創立15周年おめでとうございます。15年間の関係者の皆様のご努力に敬意を表し、また感謝申し上げます。

発足当初の派遣・受入に参加した児童達はすでに立派な社会人として活躍している訳ですが、TSIEでの体験が大きな糧となっていることと思います。

現在の小学生が社会の中核として活躍する時代には、地球はもっと狭くなり、外国との関係は想像出来ない程日常のこととなることでしょう。

そのような時代を生きなければならない世代のために、これからもどうかTSIEの皆様の活動が更に広がり益々発展することをご期待申し上げます。



常滑ライオンズクラブ
会長

伊奈 義洋

TSIE創立15周年記念を心よりお祝い申し上げます。

国際交流事業の15年間に、受け入れや派遣を体験した数多くの子供たちがおこなった国際交流活動は、TSIEスタッフの皆様や行政、教育関係者、またこの交流事業に対し理解と協力をされた関係者各位の大変なご苦労ご尽力のたまものと心から敬意を表したいと思います。

どんな交流でも参加した子供らそれぞれに、人格的な変化がみられると思います。以前より寛容になり、ずいぶん成熟し、思慮分別のある子らに成長していると思われれます。これは児童が外国に出かけ、その児童の訪問を受けて、ホストや全校生のどの子らも親しく付き合うことができた結果、得られた事例と思われれます。

我が常滑にセントレアが開港していることもあり、私たちの地域における世界の人達との文化交流が、今後益々発展し、国際文化都市の実現に向けて、TSIEが国際感豊かな子供たちの育成に大いに寄与していただくことを期待すると共に、皆様方の益々のご活躍を祈念申し上げます。



TSIE前会長

伊藤 文一

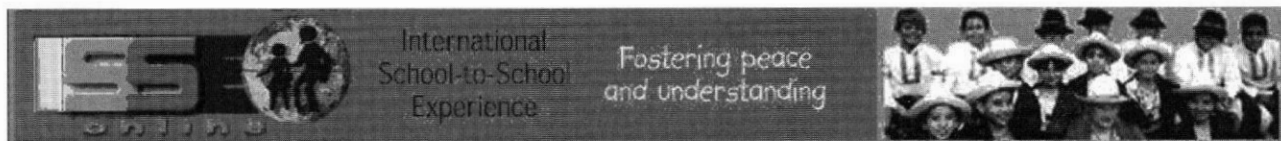
常滑市内児童生徒国際交流推進協議会15周年記念並びにISSEコンファレンスが盛大に開催されますことを心よりお慶び申し上げます。

協議会は、子供たちの国際交流を目的に1995年創立され世界中の子供たちとの国境を越えた交流を広めてきました。設立時より多大なご支援を頂きました常滑市、常滑ライオンズクラブに改めてお礼を申し上げます。

受け入れ事業はたとえ言葉は通じなくても心と心で互いの文化、生活を理解し合い、派遣事業は小さな日本の大使として派遣生が互いに協力し日本を紹介し派遣された家庭と交流を楽しんだことと思います。

今、思えばこの国際交流をいかに成功させるかを深夜におよぶ会議を何回も繰り返し、未来を担う子供たちのために学校、家庭、地域が協力し合ってきたことが永く継続していることと思います。

「世界に開かれた常滑」に応じてみなさまのご活躍と協議会のさらなるご発展を祈念し、お祝いの言葉とさせていただきます。



常滑市内児童生徒国際交流協会推進協議会創立15周年を祝し、お慶びを申し上げます。

1995年からISSEのメンバーとして、世界中の平和を促進し、相互理解を深める組織の一員となることを決断しました。多くの組織がこのことを実行しようと努力していますが、10歳から12歳の若き児童らと共に、どのようにうまく行っていったら良いのかを、あなた方はとてもよく理解できています。派遣、受け入れ、双方ともこのプログラムは、すべての児童に、直に交流を体験し外国の文化を理解する機会を与えています。

これは、現代の教育における国際理解の重要性を認識できる、学校のための革新的なアプローチです。あなた方ボランティアの方がたは、これらの交流を取りまとめ児童の人生や学校生活を豊かにするために、長時間無報酬で働いていました。

当初は、あなた方の交流は、英語を話す国々とのみでしたが、最近あなた方の交流がいかに拡大してきているかを見ていると感動しています。2010年7月には、常滑でISSE国際会議が開催されますし、世界相互理解のためのTSIEとISSEの共同事業の成功の祝賀に、私どもはあなた方と参加できることを喜んでいきます。

2010年1月13日 アメリカISSE本部
ベバリー・キャンベルさんとスー・ボルドックさんより祝辞



ベバリー・キャンベルさん



スー・ボルドックさん

異文化体験をして

平野 真由 (2007年 常西小・マレーシア派遣児童)

私達が行かせていただいた王宮は本当に魅力的でした。

各部屋の一つひとつには、月と星のモチーフが施されており、それらはすべて2年前に行かせていただいた私の印象に今でもはっきりと残っている程美しかったです。そこではみんなとマレーシアの伝統料理をいただきました。

この派遣を終えて、すっかり異国文化のとりこになってしまった私ですが、これらの貴重な体験を私自身のこれからの繋げていくことができると良いと思っています。



村田 莉菜

(2006年 常東小・

オーストラリア派遣児童)

ホームステイを体験して思ったこと。それは、人は誰とでも仲良くなれるということです。私もブリットをはじめとして、多くの人達と仲良くなれました。

でも、英語がもっと話せたら、もっと仲良くなれていたらかもしれません。だから、今、私は英語の勉強に力を入れています。将来、ブリットと、また、会えると信じて。英語をもっと話せるようになりたい。こう思えるようになったのは、ブリットと交流できるチャンスを与えてくださった方々のおかげです。本当に感謝しています。

片山 和哉 (2008年 三和小・メキシコ派遣児童)

私は、2008年の8月11日～8月27日までメキシコシティのトーマスアルバエジソン小学校(TAE)へ行きました。

TAEの生徒・先生は皆明るく、陽気で楽しい人たちばかりでした。

学校では、カルチャーショーで日本の四季の紹介をし、みんなは真剣な目で私達の話聞いていました。自分にとって今回のメキシコとの交流は大変新鮮で有意義なものとなりました。

チャンスがあれば、また今度メキシコに行ってみたいと思っています。



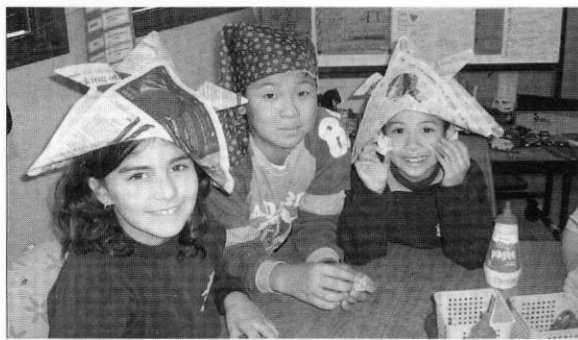
土井 滯耶 (2006年 大野小・マレーシア派遣児童)

マレーシアでは、毎日降るスコール。学校の授業は半日で、休み時間におやつを食べている。トイレは紙で拭く代わりにホースの水で流す。約束の時間を決めていても、なぜか遅れて“マレーシアタイム”と言って笑っている。驚くことばかりでした。でも、いつも笑顔で、私達派遣団が寂しくないように、ホストファミリーだけでなく、学校全体、町全体でやさしく接してくれました。このことは私たちが受け入れした時の気持ちと同じだったので、きっと日本人も外国人もやさしさは変わらないとわかったことが一番いい体験でした。



初山 実希 (2005年 常西小・タイ派遣児童)

私がタイにホームステイをしてから既に4年以上が経ちましたが、今でもホストファミリーだったKWANとメールをしたり、タイ語で手紙を交換しているので、国際交流をととても身近に感じています。私はこんなにも親しいKWANという外国の友だちができたことをとても嬉しく思うと同時に、これからも交流を続けていきたいと思っています。そして、また何年後かに成長した自分たちと再会したいです。



伊藤 大智 (2007年 西南小・オーストラリア派遣児童)

滞在中の日記を読み返すと、ホストファミリーと過ごしたこと。日本とオーストラリアの違いのこと。フットボール観戦したり、ペンギンを見に行ったり楽しかったことを思い出しました。心配だった英語は何となくこんなこと言っているのだろうなと感じましたが、話すことはできません。動作で表現し電子辞書も使いました。お世話になった人に伝えたいことが、いっぱいありました。今、英会話ができるように頑張っています。

村田 祐基 (2007年 西北小・オーストラリア派遣児童)

僕のホストチャイルドのチャヌカは、スリランカ系のオーストラリア人です。スリランカの料理はたくさんのスパイスを使って作ります。僕はスパイスをたくさん使った料理を日本で食べたことがなかったので、初めて食べた時は辛くて驚きました。でもチャヌカ達は平気そうに食べていたのもっと驚きました。そして僕が持っていったインスタントのみそ汁やおせんべいをチャヌカ達にあげた時、とても変な顔をして食べていたのが面白かったです。



ホストファミリーの喜怒哀楽

谷川 豊隆 (2008年 西北小・メキシコホストファザー)



準備を家内任せしてたためか、父親(私)および息子はメキシコからの女の子にどう接して良いのかちょっと戸惑う。しかし、翌日派遣児童及びそのホストファミリーを集めてモチツキ大会を実に40名からの参加者で行った。終わるころにはすっかりメキシコ娘は我が家の家族、朝起きたら娘の友達3人と雑魚寝状態でこちらがブエノスティアスと言えばオッハヨーと答える始末。その後の2週間はあっという間に過ぎ去り、帰るころには娘をメキシコに旅立たせる気分。素晴らしい体験をさせていただいてTSIE、西浦北小学校実行委員会の皆さんありがとう。この素晴らしい体験を皆さんに解ってもらうためにももう少し実行委員長がんばります。

菅 勝成 (2007年 三和小・メキシコホストファザー)

私たちは、メキシコの小学5年生、モンセのホストファミリーになりました。モンセはちょっとキュートで素直、そして少し英会話ができる女の子でした。

最初、ぎこちなかったコミュニケーションも日を過ごすことに慣れました。理央(当時3年生)は、モンセといつも一緒に当然のように日本語で会話してコミュニケーションしていました。優太郎(当時3歳)も普通に日本語で話しかけていました。ただ、二人とも父母とモンセが英語で会話することに興味を持っていた様子でした。

モンセのために、とみんなががんばったからいいこともありました。まず朝ごはんが変わりました。通常おにぎり一個のところ、ハムや目玉焼きがつきました。学校の予定や出来事も全部話してくれます。いつもより早く学校に行きます。家族で何度か出かけました。

ホストファミリーをしたことで、自分たちの生活が見直されました。外国人とコミュニケーションする度胸がついた気がしました。メキシコに親近感を抱くようになりました。親子の関係が以前より良くなりました。

先日、メキシコで新型インフルエンザが発生したときもメールで現地の様子を知りました。いつになるかわかりませんが、再会することを楽しみにしています。



大園 聡美 (2007年 大野小・タイホストマザー)

受け入れはあっという間の3週間だったけれど、我が家がタイ色にそまった準備期間と受け入れ後も含めるととっても長い国際交流。子供は私の心配をよそに、ずっと軽々と国境のハードルをこえる。言葉が通じなくても、夜、家族分の布団を仲良く二人で敷きながらじゃれあう姿にうらやましさを感じた。全く未知のタイの国。受け入れを通して世界で一番近い国になった。国際交流って意外に簡単? とっても素晴らしい!

石田 カ也 (2006年 常西小・タイホスト児童)

ぼくは、前年にタイのプラーンミット小学校にホームステイに行った先のGENKI君のホストファミリーになりました。一年ぶりに会いましたが、GENKI君がずいぶんスマートになり、すぐには分かりませんでした。最初は何故か恥ずかしくなりうまくしゃべることが出来ませんでした。時間が過ぎると去年の様な友達にもどってきました。

3週間の間に運動会への参加、ビーチランドでのイルカショー、名古屋まつり、テレビ塔、伊勢戦国時代村と行き思い出がいっぱいです。ぼくの兄弟もまた会える日を楽しみにしています。



澤田 康佑 (2008年 常東小・メキシコホスト児童)

ぼくが、パプロの受入をしてこまったことは、会話でした。でも、日本語であいさつをしてくれた時はうれしかったです。うまく話せなくても、野球やかくれんぼ、いもほりをしたり、トランプをして遊ぶことができ、すごく楽しかったです。

パプロがメキシコに帰る時、パプロが泣いていたので、ぼくもさみしくて泣けてきました。

片桐 美恵 (2004年 西南小・マレーシアホストマザー)

「子供ってたくましい!」2回目の受入れ時に思いました。受入れたのは「泣き虫アリッサ」。「家族が恋しいだけ、自分がこんなに弱いなんてびっくりしている」と11歳の彼女は初日に、泣きながら言いました。でも、5日目頃から笑顔がとてもかわいくて、つまみ食いが好きで、いたずらの大好きな子に変身していました。

言葉や生活・文化の違いを知ることはもちろんですが、私が受入れで一番楽しみなのは、違った環境の中でどんどん成長していく子供達の姿を見ることができるところです。



肥田 美波 (2005年 常東小 オーストラリアホスト児童)



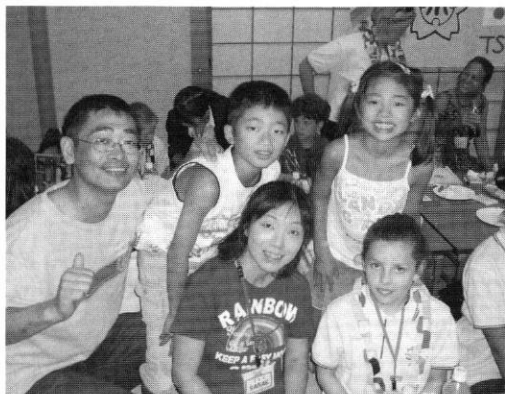
常東小6年生の秋に、3週間オーストラリアのウィーデンハイツ小学校より、チェルシーのホストファミリーをする事になりました。

彼女とは昨年私が5年生の夏、メルボルンにホームステイした時に面識があり、再び会える日をお互い楽しみにしていました。彼女の滞在中、一緒に日本の文化に触れ、オーストラリアとの違いなど英会話でコミュニケーションを取れたことが嬉しかったです。このような素晴らしい体験を与えて頂き、先生方、スタッフの皆様、家族に感謝しています。

今後も、TSIEの活動を心より応援してゆきたいと思っています。

竹内 早苗 (2008年 小鈴谷小・オーストラリアホストマザー)

「来てよかったと言ってもらえるように」この思いのもと、家族が一丸となった3週間でした。子供達は遊びを通じて日毎に打解けていき、一つのテーブルで一緒に日記や絵を描いている姿が微笑ましく、とても嬉しく思いました。言葉が通じない分、不安もたくさんありましたが、周りの方々に助けられ、あたりまえの日常生活が“special”になった3週間でした。家の所々に残っている英語の張り紙を見るたび、懐かしく思います。



沼田有里子

(2008年 小鈴谷小・オーストラリアホストマザー)

我が家はKoveenを受け入れました。「子供たちに刺激になれば…」と、思いホストをすることにしました。最初の1週間は大変でした。すべてのことに気を使い長く感じました。主人の帰りがこんなに待ち遠しいと感じたのは久しぶりでした。1週間過ぎた頃からお互いの距離が狭くなり、子供たち同士で遊んでいて笑い声が聞こえてきました。息子が電子辞書や和英辞典で単語を調べている姿をよく見かけました。Koveenのおかげで普段行かないところへ行くことができました。

2カ月に一度のメールが楽しみです。

そしていつかKoveenに会いに行きたいです。

引率者のひとり言

村田 敬一（2007年 西北小・オーストラリア引率者）

私は2年前、オーストラリアのリージェンシーパークへ6名の児童と共に派遣に行ってきました。

オーストラリアで過ごした3週間は、本当に素晴らしいものでした。優しいホストファミリーに囲まれて生活ができたこと、児童同士の素敵な交流がもてたこと、日本のカルチャーを伝えられたことなど、これらの体験が、私の生き方に影響を与えたことは間違いありません。

このような素晴らしい体験をいただいたことを心から感謝しています。



早川 敦子（2008年 三和小・メキシコ引率者）

2008年8月、私たちは2週間のメキシコ派遣に行ってきました。今でも鮮明に思い出されるのは、ホストファミリーや現地の子どもたちとの楽しい交流です。1日4回の食事とおしゃべり、そして陽気な音楽と踊りで、にぎやかな毎日を過ごすことができました。

私たちはこの交流で、メキシコ文化の素晴らしさを知るとともに日本の文化のよさを再発見することもできました。今後もTSIEの活動を通して、たくさんの人がいろいろな国の文化を大切にできるようになるといいなと思っています。

平野 令子（2007年 西南小・オーストラリア引率者）

「人々の思いは同じ」

2007年8月1日～8月21日までオーストラリアの派遣団の引率・リーダーとして派遣生の支援に努めてきました。21日間の生活の中で思いを同じくする多くの人々の出会いがありました。

フルに仕事をしながらのホストファミリー、時間のやりくりの大変さが想像されるのに、聞こえる言葉は、「ナイス、グッドボーイ、グッドガール、ノープロブレム」。日本のホストファミリーと同じでした。



花井 恵（2006年 大野小・マレーシア引率者）

今までに旅行した国は、インド、中国、ネパール、ベトナム、ミャンマー、カンボジア、モンゴルなど。アジア好きの私だが、マレーシアは初めての国。実際に行ってみて現地の人々のホスピタリティには頭が下がった。どうしてそんなに親切にしてくれるの？っていうくらい自分のことより相手を優先して考えてくれる。私がアジアを好きな一番の理由はそこにあるのだと思う。

そんな人々に接する機会を得たことは、私だけでなく、子どもたちにとっても宝物になったことと思う。



TSIE実績報告

児童引率

児童引率

1995	常東小	派遣	オーストラリア ロービル小	8	2
	常西小	派遣	オーストラリア アップウェイ小	6	2
		受入	オーストラリア アップウェイ小	6	1
	鬼南小	受入	オーストラリア ロービル小	6	1

1996	鬼南小	派遣	オーストラリア ロービル小	8	2
	常東小	派遣	オーストラリア ヘルグレイプサウス小	10	2
		受入	インド シティモンテソーリ小	10	2
	鬼北小	受入	オーストラリア ヘルグレイプサウス小	6	2
西北小	受入	オーストラリア コカトゥ小	6	2	

1997	鬼北小	派遣	オーストラリア ヘルグレイプサウス小	6	2
	西北小	派遣	オーストラリア コカトゥ小	6	2
	鬼南小	派遣	マレーシア スバンジャヤ小	6	2
		受入	オーストラリア ラングウォーリン小	8	2
	常東小	受入	オーストラリア ヘルグレイプサウス小	10	3
	大野小	受入	オーストラリア ロービル小	6	1

1998	三和小	受入	オーストラリア アップウェイサウス小	7	2
		派遣	オーストラリア アップウェイサウス小	7	2
	大野小	派遣	オーストラリア ロービル小	8	2
	鬼南小	派遣	オーストラリア ラングウォーリン小	8	2
	常東小	派遣	インド シティモンテソーリ小	6	2
	常西小	受入	オーストラリア ロービル小	6	2
	西北小	受入	アメリカ グラム小	4	2
	西南小	受入	オーストラリア リージェンシーパーク小	6	2

1999	常西小	派遣	オーストラリア ロービル小	8	2
	西南小	派遣	オーストラリア リージェンシーパーク小	8	2
	大野小	受入	オーストラリア カウス小	4	2
	鬼南小	受入	インド シティモンテソーリ小	8	2
	常東小	受入	マレーシア シャーアラームセクション9小	8	2

2000	大野小	派遣	オーストラリア カウス小	8	2
	鬼南小	派遣	インド シティモンテソーリ小	7	3
	常東小	派遣	マレーシア シャーアラームセクション9小	6	2
	西北小	派遣	アメリカ グラム小	5	2
	三和小	受入	オーストラリア ヘルグレイプサウス小	6	2
	鬼北小	受入	マレーシア シャーアラームセクション9小	6	2

2001	三和小	派遣	オーストラリア ヘルグレイプサウス小	9	2
	鬼北小	派遣	マレーシア シャーアラームセクション9小	6	2
	中学校	派遣	マレーシア シャーアラームセクション9中	8	2
	大野小	受入	オーストラリア ラングウォーリン小	6	2
	鬼南小	受入	インド シティモンテソーリ小	8	2
	常東小	受入	オーストラリア ロービル小	8	2
	西北小	受入	オーストラリア リージェンシーパーク小	8	2
	西南小	受入	オーストラリア アップウェイサウス小	8	2

2002	大野小	派遣	オーストラリア ラングウォーリン小	8	2
	鬼南小	派遣	オーストラリア コカトゥ小	6	2
	常東小	派遣	オーストラリア ロービル小	6	2
	常西小	派遣	タイ デモンストレーションスクール	7	2
	西北小	派遣	オーストラリア リージェンシーパーク小	5	2
	西南小	派遣	オーストラリア アップウェイサウス小	6	2
	三和小	受入	マレーシア シャーアラームセクション4小	6	2
	青海中	受入	マレーシア シャーアラームセクション9中	8	2

2003	西北小	受入	メキシコ センカ学園	6	1
※SARS問題の影響で、その他の事業を見合わせ					

2004	三和小	派遣	マレーシア シャーアラームセクション4小	5	2
	常東小	派遣	オーストラリア ウィーデンハイツ小	6	2
	中学校	派遣	マレーシア シャーアラームセクション2中	8	2
	鬼南小	受入	オーストラリア リージェンシーパーク小	6	2
	常西小	受入	タイ プラサーンミット小	6	2
	西南小	受入	マレーシア スリクアラランブル小	6	2

2005	三和小	派遣	オーストラリア コカトゥ小	4	2
	鬼南小	派遣	オーストラリア リージェンシーパーク小	6	2
	常西小	派遣	タイ プラサーンミット小	6	2
	西南小	派遣	マレーシア スリクアラランブル小	7	2
	大野小	受入	マレーシア ラジャムダ小	6	2
	常東小	受入	オーストラリア ウィーデンハイツ小	9	2
	南陵中	受入	マレーシア シャーアラームセクション2中	8	2

2006	大野小	派遣	マレーシア ラジャムダ小	6	2
	鬼南小	派遣	オーストラリア ウィーデンハイツ小	6	2
	常東小	派遣	オーストラリア セルビー小	6	2
	三和小	受入	オーストラリア コカトゥ小	6	2
	常西小	受入	タイ プラサーンミット小	6	2
	西北小	受入	オーストラリア リージェンシーパーク小	6	2
西南小	受入	オーストラリア ロービル小	6	2	

2007	常西小	派遣	マレーシア シャーアラームセクション7小	6	2
	西北小	派遣	オーストラリア リージェンシーパーク小	6	2
	西南小	派遣	オーストラリア ロービル小	5	2
	三和小	受入	メキシコ トーマス・アルバ・エジソン校	6	2
	大野小	受入	タイ プラサーンミット小	6	2

2008	三和小	派遣	メキシコ トーマス・アルバ・エジソン校	6	2
	大野小	派遣	タイ プラサーンミット小	6	2
	常東小	受入	メキシコ プエナティエラ校	8	2
	常西小	受入	マレーシア シャーアラームセクション7小	6	2
	西北小	受入	メキシコ オリカ校	7	2
	西南小	受入	オーストラリア アップウェイサウス小	6	2
	小鈴谷小	受入	オーストラリア ロービル小	6	2

**受入事業を行った学校**

★三和小学校	5回	(31人)
・オーストラリア	3回	(19人)
・マレーシア	1回	(6人)
・メキシコ	1回	(6人)

★大野小学校	5回	(28人)
・オーストラリア	3回	(16人)
・マレーシア	1回	(6人)
・タイ	1回	(6人)

★鬼崎北小学校	2回	(12人)
・オーストラリア	1回	(6人)
・マレーシア	1回	(6人)

★鬼崎南小学校	5回	(36人)
・オーストラリア	3回	(20人)
・インド	2回	(16人)

★常滑東小学校	6回	(51人)
・オーストラリア	3回	(27人)
・マレーシア	1回	(8人)
・メキシコ	1回	(6人)
・インド	1回	(10人)

★常滑西小学校	5回	(30人)
・オーストラリア	2回	(12人)
・マレーシア	1回	(6人)
・タイ	2回	(12人)

★西浦北小学校	6回	(37人)
・オーストラリア	2回	(20人)
・アメリカ	1回	(4人)
・メキシコ	2回	(13人)

★西浦南小学校	6回	(37人)
・オーストラリア	5回	(31人)
・マレーシア	1回	(6人)

★小鈴谷小学校	1回	(6人)
・オーストラリア	1回	(6人)

★青海中学校	1回	(8人)
・マレーシア	1回	(8人)

★南陵中学校	1回	(8人)
・マレーシア	1回	(8人)

計 43回 (285人)

派遣事業を行った学校

★三和小学校	5回	(31人)
・オーストラリア	3回	(20人)
・マレーシア	1回	(5人)
・メキシコ	1回	(6人)

★大野小学校	5回	(36人)
・オーストラリア	3回	(24人)
・マレーシア	1回	(6人)
・タイ	1回	(6人)

★鬼崎北小学校	2回	(12人)
・オーストラリア	1回	(6人)
・マレーシア	1回	(6人)

★鬼崎南小学校	7回	(47人)
・オーストラリア	5回	(34人)
・インド	1回	(7人)
・マレーシア	1回	(6人)

★常滑東小学校	7回	(48人)
・オーストラリア	5回	(36人)
・マレーシア	1回	(6人)
・インド	1回	(6人)

★常滑西小学校	5回	(33人)
・オーストラリア	2回	(14人)
・マレーシア	1回	(6人)
・タイ	2回	(13人)

★西浦北小学校	4回	(22人)
・オーストラリア	3回	(17人)
・アメリカ	1回	(5人)

★西浦南小学校	3回	(21人)
・オーストラリア	2回	(14人)
・マレーシア	1回	(7人)

★市内中学校合同	2回	(16人)
・マレーシア	2回	(16人)

計 40回 (266人)





【常滑市内児童生徒国際交流推進協議会規約】

(名称)

第1条 本会の名称を、常滑市内児童生徒国際交流推進協議会 (Tokoname City students' International Exchange Conference Association以下「TSIE」という) とする。

(目的)

第2条 TSIEは、地球的な平和に参加、貢献する事をもとに、常滑市内の児童生徒 (小、中学生) に、国際交流事業を推進することにより、さまざまな体験、機会を与え、児童生徒及びその活動関係者が国際経験の重要性を理解、認識するよう努めることを目的とする。

(事業及び運営)

第3条 TSIEは、前条の目的を達成するために、教育委員会及びPTAとの協力を得つつ、次の事業を行う。
(1) 常滑市内における、国際交流のための外国からの児童生徒の受け入れ事業
(2) 常滑市内における、児童生徒の国際交流のための海外派遣事業
(3) その他、前条の目的の達成に必要な事業
2、TSIEは、教育委員会、PTA及び市民ボランティアの活動によって前項各号の事業運営に寄与するものとする。

(会員)

第4条 TSIEは、第2条の趣旨に賛同する者及び第2条の趣旨に賛同する市内小中学校により構成する。
2、TSIEの入会については、指定書式申し込み書を、役員会に提出し役員会の承認をもって登録、入会とする。
3、TSIEの会員の退会については、委員長又は事務局を通し、役員会の承認をもって退会とする。
4、会員は各年度総会后、1ヶ月以後をもって会費の納入の無い会員は会より退会した事として扱う。

(組織)

第5条 TSIEに、次の役員を置き、役員会を構成する。
(1) 会長 1名 (2) 副会長 若干名 (3) 会計 1名
(4) 事務局長 1名 (5) 委員長 若干名 (6) 事業代表者 若干名
2、役員は、総会において会員の中から選任する。
3、役員が欠けた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。
4、役員の任期は、一年とし、再任を妨げない。
5、役員は委員会の委員を兼ねることが出来る。
6、副会長の内1名は、各学校単位において派遣、受け入れ事業等を担当する団体の代表者とする。
7、役員とは別途、役員会の承認をもって会長の任命により監査を2名置く。
8、役員とは別途、役員会の承認をもって会長の任命により顧問を置くことができる。

(役員及び監査、顧問の職務)

第6条 会長は、本会を代表し、会務を総理する。
2、副会長は、会長を補佐し、会長に事故ある時は、その職務を代理する。
3、会計は、経理を担当する。
4、事務局は、会務、総務及び庶務を担当し、会の円滑な運営と活動を行う。
5、委員長は、委員会を掌握し、実務を執行する。
6、事業代表者は、各事業実行団体の事業の円滑な運営を図り、団体の総意の意見を述べる。
7、監査は、会計を監査する。
8、顧問は、各専門事項等にわたり広く意見を述べる。

(役員会の任務等)

第7条 役員会は、総会の可決事項の範囲において、事業実務の事項を付議し、協議、執行する。
2、役員会は、会長又は役員の上申し出により会長が召集し、会長が議長となる。
3、役員会は、役員の上申し出により、会長の承認によって、役員以外の会員及び有識者等を出席させることができる。
4、役員会は、出席者の過半数で決し、可否同数の時は議長の決するところによる。
5、会長は、随時、会員である市内小中学校に対し、経過を報告し、又は意見を聴取することができる。

(総会及び臨時総会)

第8条 総会は年1回会長が召集し、会長がその議長となる。なお、会長が必要と認めるときは、臨時に総会を召集することができる。
総会に付議する事項は、次のとおりとする。
(1) 予算の議決及び決算の認定 (2) 事業計画及び事業報告の承認 (3) 役員の変更及び承認
(4) 規約の変更及び承認 (5) その他、会長が重要と認める事項
2、総会、臨時総会は会員をもって構成する。
3、総会、臨時総会は、出席者の過半数で決し、賛否同数の時は議長の決するところによる。

(事務局)

第9条 TSIEの庶務を処理するため、事務局を常滑市内に置く。
2、事務局は事業該当校中から各1名以上及び会員の中から若干名を選任する。

(委員会)

第10条 委員会とは、役員会の決議により、委員会を置くことができる。
2、委員会は、委員長1名、副委員長若干名を置き、委員会委員の中から定める。
3、委員会委員は、役員会の承認をもって会員の中から選任する。
4、委員会は、委員会の申し出により、委員長が召集し、委員長が議長となる。
5、委員長は、担当事業に係わる意見の聴取、取りまとめをし、委員会運営に関して、役員会において協議を計る。
6、委員会委員は役員及び事業実行団体より業務に関する委託、要望をうけ、その業務の円滑なる運営に務める。

(経費)

第11条 TSIEの経費は、会費、補助金、寄付金及びその他の収入をもって充てる。
2、年会費は、500円とする。
3、会員の小中学校からは会費を徴収しない。

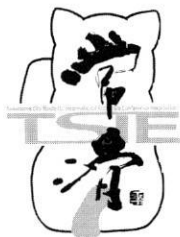
(会計年度)

第12条 TSIEの会計年度は、毎年4月1日から始まり、翌年3月31日をもって終わる。

(その他及び緊急の場合の運用事項)

第13条 前条各項の定めのほか、必要な事項は、会長が役員会にはかつて定める。
2、緊急の場合には役員会の議決において、総会の決議に変わることが出来る。

(付則) この規約は、2003年5月9日から施行する。(年会費変更)



TSIE創立15周年記念事業実行委員会

実行委員長	福田 泰造 (TSIE会長)
委員	畑中 一恵 (大野小)
	村上 祐子 (常西小)
	森本 泰子 (西北小)
	大澤 義生 (国際理解教育担当校長)
	土居 晃代 (TSIE事務局)
	東 覚子 (TSIE事務局)
	村川 和久 (TSIE事務局)
	田村 由紀 (TSIE事務局)
	伊奈 啓治 (TSIE事務局)
	会計
藤田 幸恵 (TSIE事務局)	

